

## 第3学年道徳指導案

平成17年10月28日(金) 1校時

3年1組(男16名 女20名 計36名)

指導者 中村 純子

- 1 主題名 日本の文化や伝統を大切に(4-(6)愛国心)
- 2 資料名 ふろしき(出典 学研)
- 3 主題設定の理由

### (1) 価値について

第3学年及び第4学年の内容項目4-(6)は、「我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心を持つ。」となっており、国とのかかわりに関するものであり、国を愛する心をもった児童を育てようとする内容項目である。これは、第5学年及び第6学年の4-(7)「郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。」と4-(8)「外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚を持って世界の人々と親善に努める。」に発展していくものである。

国際社会においては、外国の人々や文化に関心をもち、お互いに理解し合っていくことが望まれる。それぞれの国に大切にされている文化や伝統があることを理解するためには、まず自国を知ることから始め、自国を愛する気持ちを育てていくことが大切である。そのことが日本と外国の違いを意識し、異なる文化を持つ外国への関心を高めさせることにつながる。また、自国を愛する気持ちはどの国の人も同じだという考えが根底にあって、尊重し合い理解し合う姿勢も生まれる。そこで、身近にある我が国の文化や伝統に触れ、関心をもち、日本人の知恵や心について考えを深めていくことにより、それらを大切にしていこうとする気持ちを育てていきたい。

この時期の児童は、家庭・学校・地域などといった概念はあるものの、日本の国ということについてはまだ意識が薄い。社会などの学習活動でもまだ取り上げることはない。したがって、身近にある具体物から始めて日本の国を意識させていきたい。そして、古くから、その良さの故に受け継がれ、風土に根ざして発展してきた文化や伝統が身近にたくさんあることに気づかせたい。

### (2) 児童について

学級の児童は、好奇心旺盛で、新しいことや珍しいことによく反応する。そして、昆虫の世話や折り紙遊びなど、興味を持ったことには熱中して参加する。「日本」や「日本の文化」に関しては、音楽の時間に和楽器の音色を鑑賞すると「侍が出てくるみたいだ」とつぶやくなど、数少ないイメージを懸命に結びつけて発信してくる。しかし、「日本は大きい」など、知識の不足から来る誤った認識もみられる。そこで、機会をとらえて知識を補い、日常生活の中の気付かない日本文化や伝統にも眼を向けさせたい。日本の文化や伝統に触れ考える機会を作ることで、古くてもよいものがあることや、季節にあったくらしの楽しみ方があること、自分の知恵でさらに発展させられる文化があることに気づかせたい。

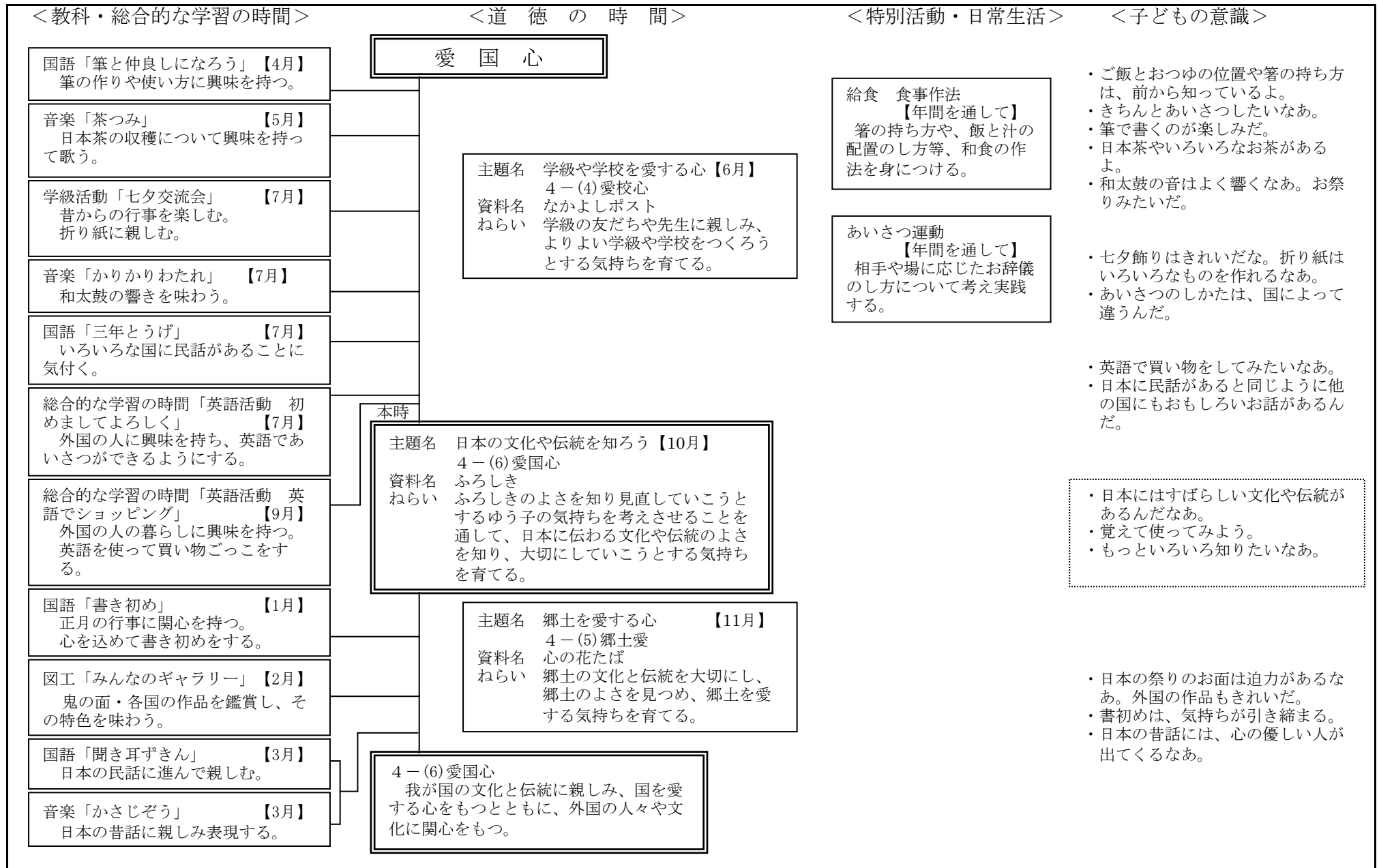
### (3) 資料について

本資料は、主人公の「ゆう子」が、きれいな布を見つけ、ふろしきであると知り、母から話を聞いたり品物の包み方を教わったりして、ふろしきの良さを知るといものである。最近では使われることが少なくなってきたふろしきであるので、教室でも実際の包み方を見せることにより、母の実演会に思わず声をあげるゆう子に、児童も共感させたい。「友だちにも教えてあげてもっといろいろなつかい方ができないか話し合ってみよう」と思うゆう子の気持ちから、文化の継承と発展についてもふれられるよい資料である。

### (4) 授業の構想について

「まとめる」の段階で、学区内にある畳店の方を講師としてお話をうかがう。日本の文化である和室を構成する畳や建具についてのお話から、身近であるが気付いていなかったそのよさを知りより愛着がもてるようにさせたい。また、和室の文化を継承しようと仕事に励む気持ちを受けとめ、文化がそれを愛する人によって守られ発展してきたことにも気づかせたい。

4 全教育活動における本時の位置付け



5 本時の指導

(1) ねらい ふろしきのよさを知り見直していこうとするゆう子の気持ちを考えさせることを通して、日本に伝わる文化や伝統のよさを知り、大切にしていこうとする気持ちを育てる。

(2) 展開

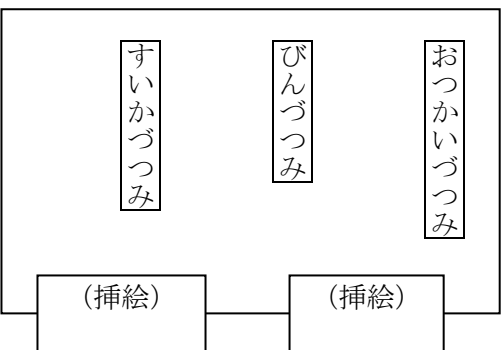
段階	学習活動と主な発問	予想される児童の発言や心の動き	指導上の留意点や支援
気づく 10分	<p>1 ふろしきについて、知っていることを話し合う。</p> <p>○ふろしきを使ったことがありますか。</p> <p>2 資料を読み、感想を発表して課題を立てる。</p> <p>○思ったことや、みんなと話し合いたいことは何ですか。</p> <p>ふろしきのことを知り、ゆう子はどんなことを思ったのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家にある。</li> <li>・使ったことがある。</li> <li>・大きな作品を包んだことがある。</li> <li>・ふろしきはべんりだなあ。</li> <li>・ゆう子の気持ちを考えたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふろしきを提示して資料への導入を図る。</li> <li>・ゆう子の気持ちにそって学習を進めることを確認する。</li> </ul>
深める 20分	<p>3 「ゆう子」の気持ちの変化を中心に話し合う。</p> <p>○ゆう子は、ふろしきが昔から日本でつかわれてきたものだと知って、どんなことを思ったでしょう。</p> <p>○ふろしきで本をつつんでみたゆう子は、どんなことを思ったでしょう。</p> <p>○お母さんがいろいろなものをつつんで見せてくれたとき、ゆう子はどんなことを思ったでしょう。</p> <p>◎ゆう子は、ふろしきについて、友だちとどんなことを話し合いたいと思っているでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな布だなあ。</li> <li>・赤紫色のお祝いをつつむ物の他に、こんなにきれいなふろしきがあるんだなあ。</li> <li>・ふろしきが昔から使われていたなんて知らなかった。</li> <li>・どんな使い方をするんだろう。</li> <li>・ぬの地がやわらかいから、うまく包むことができる。</li> <li>・ふしぎなことに、中のものが大切なものに思えてくる。</li> <li>・いろいろな包み方があってびっくり</li> <li>・スーパーの袋よりよい点がある。</li> <li>・どんな形のもので、つつみ方を変えれば包むことができる。</li> <li>・つつむ以外のつかい方もあって、ふろしきは、まほうの布のようだ。</li> <li>・昔の人はよく考えた。</li> <li>・日本人の知恵はすばらしい。</li> <li>・昔の日本人の知恵はすばらしい。</li> <li>・もっとたくさんの人にふろしきのことを教えてあげたい。</li> <li>・自分たちも、ふろしきの便利な使い方を考えて、どんどん使っていこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた布が、むかしから使われてきた「ふろしき」であったこと、意外なほどに美しいものであったことを押さえ、ゆう子の驚きに共感させたい。</li> <li>・形のままに包み込み手をそえる動作に、中のものがとてもたいせつなもののような気がするというゆう子の気持ちを押さえ、ものを大切にするという日本の心に気付かせる。</li> <li>・実際にいろいろな包み方を見せてゆう子の気持ちを考えさせ、昔からつかわれてきたものへの感動と伝えてきた人々を尊敬する心情をつかませたい。</li> <li>・かばんや袋にない利点や物を包む以外の使い方にも気づかせられるように注目させる。</li> <li>・ふろしきのよさや、それを伝えた昔の人への尊敬の気持ちを押さえ、友だちとどんなことを話し合いたいと思っているかを考えさせることにより、価値をつかませたい。</li> </ul>

見 つ め る 8 分	4 今までの自分を振り返る。 ○日本で昔から伝わってきているものを、さがしてみましよう。	・お祭り・着物・扇子・団扇・和太鼓・寿し・てんぷら・はし・たたみ・ふすま・風鈴・折り紙	・心のノートP86・87の 写真も参考にする。
ま と め る 7 分	5 まとめをする。 ○和室に使われる畳の良さについて、お話をうかがいましよう。	・身近に伝わっているものを、自分たちも大切にしていきたいなあ。	・講師の話から、畳や和室の良さ、畳作りに携わる気持ちなどをつかませることによって、身近な日本の文化を大切にしていきたいという気持ちをもたせる。

## 6 板書

# ふろしき

ふろしきのことを知り、ゆう子は  
どんなことを思ったのだろうか。



きれいだなあ。

つつむと

中のもが大切に思えてくる。

心

いろいろなつつみ方にびっくり。

どんな形もつつむことができる。

ものを大事にしてきたんだなあ。

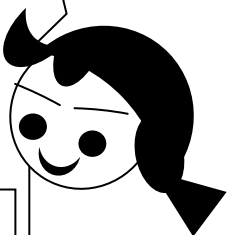
まほうの布みたいだ。

昔の人は、よく考えたなあ。

知恵

つつみ方をかえれば、どんな形のものでもつつむことができる。小さくおりましたんでしまう。かたやひざにかける。

もともとどへんにつかっていた。



ふろしきは、何でもつつめるとしても便利なもの。つつむ以外の使い方もある。昔の日本の人が考え出して使ってきた。他の使い方も考えようもっと使って広めていこう。

## ふろしき

きれいなぬの

昔から日本で

使われてきた

日本に伝わる  
文化や伝統を

大切にしよう

7 資料分析

(1) ねらい ふろしきのよさを知り見直していこうとするゆう子の気持ちを考えさせることを通して、日本に伝わる文化や伝統のよさを知り、大切にしていこうとする気持ちを育てる。

(2) 資料名 ふろしき (出典 学研)

場 主 面 な	ゆう子がふろしきを見つけ、むかしから、日本で使われてきたものだと知る場面	自分で本を包んでみる場面	母が、実際にいろいろなものを包んでみせてくれる場面	友だちにも教えてあげたいと思う場面
き 把 状 握 況 す べ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これは、ふろしきよ。」</li> <li>・「ふろしきはね、むかしから、日本でつかわれてきたものなのよ。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そばにあった本を2、3さつつんでみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これから実演会よ。」</li> <li>・様々な品物の包み方を知る。</li> <li>・「ふろやさんと、つつんだり、しいたりしたからふろしきとよばれるようになったのよ。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちにもふろしきのよさを知らせ使い方を話し合おうと思う。</li> </ul>
主 人 公 の 心 の 動 き	<p style="text-align: center;">驚き</p> <p style="text-align: center;">疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わあ、きれい。</li> <li>・スカーフなのかな。</li> <li>・ふろしきのことをよく知らなかった。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">喜び</p> <p style="text-align: center;">感動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふろしきでつつむと、中のものが、とても大切なもののような気がするの。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">愛 国 心</p> <p style="text-align: center;">感心</p> <p style="text-align: center;">感動</p> <p style="text-align: center;">賞賛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一枚のふろしきが、こんなにいろいろな使い方ができるなんて知りませんでした。</li> <li>・まほうの布のように思えてしかたありませんでした。</li> <li>・昔の人の知恵はすごいなあ。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">愛 国 心</p> <p style="text-align: center;">尊敬</p> <p style="text-align: center;">意欲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちにもふろしきのよさを教えてあげて、もっといろいろなつかい方ができないかどうか、みんなで話し合ってみよう。</li> </ul>
児 童 の 反 応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな使い方をするんだろう。</li> <li>・ふろしきが昔から使われていたなんて知らなかった。</li> <li>・赤紫色のお祝いをつつむ物の他に、こんなにきれいなふろしきがあるんだなあ。</li> <li>・きれいな布だなあ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふしぎなことに、中のものが大切なものに思えてくる。</li> <li>・ぬの地がやわらかいから、うまく包むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の知恵はすばらしい。</li> <li>・昔の人はよく考えた。</li> <li>・包む以外の使い方もあるって、ふろしきは、まほうの布のようだ。</li> <li>・どんな形のものでも、つつみ方を変えれば包むことができる。</li> <li>・スーパー袋よりよい点がある。</li> <li>・いろいろな包み方があってびっくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちも、ふろしきの便利な使い方を考えて、どんどん使っていこう。</li> <li>・もっとたくさんの人にふろしきのことを教えてあげたい。</li> <li>・昔の日本人の知恵はすばらしい。</li> </ul>
基 本 発 問	○ゆう子は、ふろしきが昔から日本でつかわれてきたものだと知ってどんなことを思ったでしょう。	○ふろしきで本をつつんでみたゆう子は、どんなことを思ったでしょう。	○お母さんがいろいろなものをつつんで見せてくれたとき、ゆう子はどんなことを思ったでしょう。	◎ゆう子は、ふろしきについて、友だちとどんなことを話し合いたいと思っているでしょう。